



東 俣 野 10月号

東俣野小学校 学校だより

平成26年10月1日

前期終了、一人ひとりが輝く後期へ

副校長 油屋 邦江

暑かった夏が終わりました。校庭では子どもたちの育てている稲が実り、少し前まできれいに咲いていた花々は種をつけています。実りの秋がやってきました。

あと10日で登校日102日の長い前期が終了します。様々な学習や学校行事を経てきた子どもたちの成長を感じます。先日行われた縦割りウォークラリーでも、1年生から6年生が仲良く遊ぶ姿や優しい声かけが多く見られました。

さて、先月、東俣野小・小雀小合同の個別支援学級上郷宿泊体験学習に行ってきました。そのときの様子を少し紹介します。本校は1年生から6年生まで6人の参加でした。金沢動物園では、飼育員さんのゾウの調教（健康観察）を見学しました。あの大きなゾウが飼育員さんの合図でゴロンと横になって寝たり、足を上手に曲げて飼育員さんを自分の背中に乗せたりするなど、息のあった様子を見ることができました。ゾウの頭のよさと飼育員さんの日々の努力に感動させられました。つぎにバックヤードに入って飼育舎を見学しました。3トンから6トンもあるゾウですから、飲む水の量、餌の量、そしてウンチやおしっここの量にも驚かされました。世話をする飼育員さんの仕事は本当にたいへんだと思いましたが、子どもたちから「将来は飼育員になりたい。」という声も聞かれました。動物の生態を知ると同時に、飼育員という仕事について興味をもつ機会にもなったと思います。



また、1泊2日の宿泊体験学習の中、上級生が1・2年生をつねに気にかけて、進んで世話をすることができました。1・2年生も、始めの会等でみんなの前で言葉を述べたり、食事の挨拶を言ったりときっちり自分の役割を果たす姿が見られました。親元を離れ友達と過ごす中、自分のことは自分で、友達と仲良く助け合うよい体験となりました。小雀小の友達ともすっかり打ち解け、みんなが笑顔の宿泊体験学習を終えることができました。

保護者・地域の皆様には、前期には、合同運動会を始めとする学校行事への参加やまち探検などの学習のサポート、図書ボラや子どもたちの安全の見守りなど、様々な教育活動にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。後期も大きな行事をたくさん予定しています。一人ひとりが輝く後期となりますよう取り組んで参ります。さらなるご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。